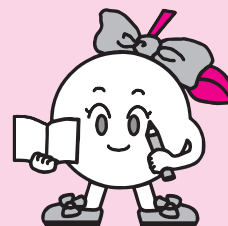


# 平成20年度決算報告

毛田町の  
家計簿を  
チェックしよう！

**歳入 92億600万円**  
**歳出 83億9,316万6千円**



平成20年度決算が9月定例町議会で承認されました。決算は、私たちが納めた税金が、町づくりや暮らしのなかで、どのように活かされてきたのかをまとめたものです。平成20年度はどのようなことに町のお金を使ったのかを報告します。

## 一般会計

### ■一般会計歳出

(単位 / 千円)

項目	20年度決算	前年度増減額
民生費	23億8,101万7	4,268万3
総務費	13億2,185万0	6,386万0
土木費	10億1,618万1	5,909万3
教育費	9億6,358万6	2,513万4
衛生費	7億7,045万1	926万2
公債費	7億5,015万6	△304万4
消防費	5億6,692万4	△2,562万9
農林水産業費	1億3,774万3	△465万0
その他		
・議会費	1億 3万4	△457万9
・商工費	3,735万0	△137万2
・労働費	3,003万2	0
・災害復旧費	0	0
・諸支出金	3億1,784万2	△1億7,534万2
<b>合計</b>	<b>83億9,316万6</b>	<b>△1,458万4</b>

町民1人あたりに  
使われるお金は

合計22万9,233円です

町立小学校児童1人あたり 115,946円  
町立中学校生徒1人あたり 75,063円

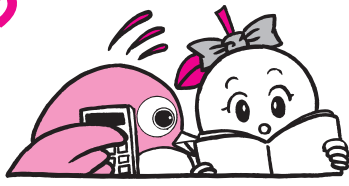
民生費 65,030円	教育費 26,317円	消防費 15,484円
総務費 36,102円	衛生費 21,043円	農林水産業費 3,762円
土木費 27,754円	公債費 20,488円	その他 13,253円

### ■一般会計歳入

(単位 / 千円)

	項目	20年度決算	前年度増減額
自主財源	町税	39億7,437万9	1,754万9
	繰入金	4億3,395万5	2,343万1
	繰越金	1億9,674万2	△1億1,064万3
	その他		
	・分担金及び負担金	1億3,687万7	865万3
	・使用料及び手数料	6,620万5	29万8
	・財産収入	2,326万5	△747万7
依存財源	・寄付金	27万8	△245万7
	・諸収入	9,616万5	△1,770万7
	地方交付税	14億8,461万6	△1,744万1
	町債	4億9,246万9	△1,273万9
	国庫支出金	11億3,538万6	6億6,493万8
	その他		
	・県支出金	4億9,362万0	7,551万3
	・地方消費税交付金	2億9,766万7	△2,020万9
	・地方譲与税	1億1,804万8	△495万2
	・地方特例交付金	5,767万2	3,729万2
	・自動車取得税交付金	8,170万4	△892万5
	・ゴルフ場利用税交付金	8,359万6	△197万0
	・利子割交付金	1,776万9	△49万7
・株式等譲渡所得割交付金	241万8	△829万1	
・配当割交付金	701万6	△1,214万1	
・交通安全対策特別交付金	615万3	△71万7	
<b>合計</b>	<b>92億600万0</b>	<b>6億150万8</b>	

# ゆず子とめじろうの家計簿チェック



平成20年度は歳出より、歳入のほうが8億円くらい多いわね。



それは、定額給付金を支給するためのお金、約5億円が、翌年度に繰り越されているからだよ。それを差し引くと、翌年度に使える余ったお金は2億円くらいなんだ。



前年度は繰越金が約3億円あったから、繰越金は実際には減っているのね。平成20年度はどんなことにお金を使ったのかしら。



県支出金が増えているけれど、これは東武越生線の駅バリアフリー化のための補助金が出ているからだよ。土木費も、その分増えているね。土木費は、前年から引き続き、長瀬駅前野久保線の整備をしたり、東毛呂駅前の道路などを直したりしたよ。



一番、お金を使っているのは民生費ね。



こども医療費、児童手当、保育所等委託料などの子育て対策や、介護、障害者への給付金など、誰もが安心して暮らせるまちづくりには欠かせないお金だよ。



皆が納めた大切な税金をこれからも有効に使わなくてははいけないわね！

内訳は・・・

- ・町民税……………55,814円
- ・固定資産税……………42,482円
- ・町たばこ税……………5,290円
- ・都市計画税……………3,531円
- ・軽自動車税……………1,424円
- ・入湯税……………6円
- ・特別土地保有税……………0円

10町町  
万税民  
8のの  
5負担  
4の  
7円あた  
ですりの

※都市計画税とは 都市計画事業または土地区画整理事業の費用に充てるため、市街化区域内に所在する土地および家屋を所有する人に課税されます。平成20年度の都市計画税の決算額1億2,928万3千円で、公共下水道事業などに充てられました。



## 平成20年度の主な事業

### 住民と行政の協働によるまちづくり

住民が正確な情報を共有し、隣近所で活発な住民活動が展開でき、さらに男女共同参画や住民の交流活動を促進し、簡素で効率的な行財政運営や広域的なまちづくりを進めます。

■コミュニティ施設特別整備事業補助金	1,064万6千円
■広報等印刷事業	559万円
■区運営費補助金	431万2千円

### 健康で安心して暮らせるまちづくり

地域における支え合いを基盤として、一人ひとりに対応できるきめ細やかな健康づくり活動や、少子高齢社会などに対応する福祉活動を支援します。

■民間保育所等委託料	2億6,942万6千円
■児童手当等扶助費	2億4,216万5千円
■介護給付費・訓練等給付金	1億9,229万4千円

### 自然と共生した安全で快適なまちづくり

美しい景観づくりや水辺環境の創造を進め、また、防災対策の充実をはじめとし、防犯活動や交通安全などを住民と協働して推進し、環境に配慮した快適な生活の実現を支援します。

■埼玉西部環境保全組合負担金	4億6,874万2千円
■長瀬駅前野久保線整備事業	1億5,167万7千円
■東武越生線駅バリアフリー化事業負担金	1億1,788万2千円

### 元気に仕事ができるまちづくり

農林業、観光、商工業の振興支援や、住民などが取り組む企業活動を支援します。

■農道・用排水路等整備事業	3,036万1千円
■観光事業	629万8千円
■商工会補助金	770万円

### 学びを未来に活かすまちづくり

生涯学習の支援や、一人ひとりに応じた教育の充実を図るため、家庭、地域、幼稚園、保育園、小学校、中学校間の連携と、本町ならではの特色ある教育を推進します。

■私立幼稚園就園奨励費補助金	3,321万3千円
■生徒指導・教科指導支援員事業	2,839万8千円
■毛呂山小学校校舎耐震補強工事	9,424万円

# 特別会計

## バランスシートの

### 用語解説

#### 負債の部

資産を形成するために借り入れた資金などで、将来の世代が負担しなければならないものです。

**固定負債** 町が借り入れをしている地方債の翌々年度以降の償還予定額です。退職給与引当金は、年度末に全職員が普通退職した場合に支払う退職金の額を負債として計上しています。

**流動負債** 地方債のうち翌年度の償還予定額です。

#### 正味資産の部

資産と負債の差額で、これまでの世代によりすでに負担されたものです。

**国庫支出金・都道府県支出金** 国・県から受け入れた資金です。

**一般財源等** 資産形成のために充てられた地方税などの金額です。

#### 資産の部

これまでの行政活動によって形成された町の経営資源となるものです。

**有形固定資産** 町役場庁舎や公民館などの建物や附属設備、橋や道路の舗装などの構築物、町の所有している自動車や土地などを行政目的別に表示しています。土地を除き施設の耐用年数に応じて減価償却を行っています。

**投資等** 土地開発公社や川越総合卸売市場への出資金や、公共施設整備基金などの特定目的基金と土地開発基金などです。退職手当組合積立金は、退職金の支給に備えて町が加入している退職手当組合の資産の持分相当額です。

**流動資産** 現金・預金のほか現金化することが容易な基金と町税などの未収金です。

#### 国民健康保険 特別会計

安心して医療を受けることができるように保険制度の維持・運営に使われました。

3億7,754万9千円を平成21年度に繰り越しました。

■歳入 42億2,219万2千円  
■歳出 38億4,464万3千円

#### 介護保険 特別会計

介護を必要とする人や、介護予防が必要な人が安心して生活を送るために使われました。

6,259万3千円を平成21年度に繰り越しました。

■歳入 13億8,416万5千円  
■歳出 13億2,157万2千円

#### 老人保健 特別会計

平成20年3月診療分および月遅れ請求分について、老人保健法による保健給付を行いました。

1,089万3千円を平成21年度に繰り越しました。

■歳入 3億 177万4千円  
■歳出 2億9,088万1千円

毛呂山町の特別会計は、国民健康保険、介護保険、老人保健、後期高齢者医療、農業集落排水事業の5つの特別会計と、企業会計の水道事業会計があります。



#### 後期高齢者 医療特別会計

高齢者が安心して医療が受けられるように、制度の維持・運営に使われました。

459万9千円を平成21年度に繰り越しました。

■歳入 2億2,861万2千円  
■歳出 2億2,401万3千円

#### 農業集落排水 事業特別会計

農村地域の生活向上のため、排水処理施設の整備を行いました。現在、主要な事業が終わり、主に維持管理を行っています。

393万3千円を平成21年度に繰り越しました。

■歳入 2,764万8千円  
■歳出 2,371万5千円

#### 水道事業会計

日常生活に欠かせない生活用水を安定供給するために使われました。

■水道事業収益（水道料金など） 7億8,836万1千円  
■水道事業費用（水道施設維持管理、県水受水費など） 7億6,095万円  
消費税分を差し引いて1,373万4千円の純利益となりました。  
■資本的収入（国庫補助金など） 3,152万3千円  
■資本的支出（建設改良費など） 3億6,686万5千円

3億3,534万2千円の不足は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額と過年度分損益勘定留保資金、減債積立金で補てんされました。